

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 7  
2019・5・25

1 連邦食料・農業大臣クレックナー：保育所は生きた栄養教育の場である  
—保育所・学校給食の予算を倍化— (2019・5・21)

連邦大臣クレックナーは、ネットワークセンター、保育所—学校給食の財政奨励を、より多くの子供たちが食事をとれるよう倍化させた。今日クレックナーは、Montabaurにある町立の全日制保育所「天国の野」を訪問した。彼女は挨拶の中で、保育所施設におけるバランスのとれた給食の重要性を強調した。

”我々の子供達のバランスある栄養は、健康な生活のための鍵である。なぜならば、太り過ぎはしばしば子供の時から、生涯にかけて耐えねばならないこととなる。そのため、現在の太り過ぎの数字は、不安の要因になるものである。ドイツにおいて3歳から17歳までの年齢で、太り過ぎは15%以上である。その内、約1/3は脂肪過多である。これは心臓—循環器病または糖尿病を助長する。

それだけ栄養の専門知識を、可能な限り早くから伝達することが一層重要である。なぜならば、子供のときに覚えられないことは、大人になっても覚えられない。栄養教育は、保育所と学校において既に決定的である。丁度同じようにこの施設において、バランスのとれた給食のように。常により多くの子供たちが、ここで規則的に食事を摂る。そのため、私は自らの省でもって「栄養に関するドイツ協会」の品質基準の広範な適用に尽力している。

栄養の専門知識を早くから可能な限り教えることが、一層重要である。なぜならば、子供の時に覚えられないことは、大人になっても覚えられない。栄養教育は、保育所と小学校において既に決定的である。この施設において、バランスのとれた給食が提供されるから。つねにより多くの子供たちが、ここで規則的に自らの食事を摂る。

そのため、私は自分の省でもって「栄養に関するドイツ協会」の品質基準を、広範に適用するために努力している。この基準は保育所―学校給食ネットワークセンターで、説明されそして普及される。これはその際、子供のため可能な限り魅力的で良い食事を作る際に、実践的に支援する。そのため、私は省の財政的奨励を 2019 年と 2020 年に、200 万ユーロ（約 2 億 6000 万円）に倍化させた。”

### **バランスのとれた子供の栄養はクレックナー大臣の中心的な関心事**

大人と違って子供（特に小さな子供達）は、何が健康でそしてバランスあるのか、まだ自分で判断できない。そのため、子供達は特に保護を必要とする。国もまた責任を担っている。クレックナー大臣は、小さい子供と乳児のために、茶の中に砂糖の添加を禁止している。穀物のかゆのような乳児の補助食についても、EU ーレベルで力を尽くしている。これは可能な限り砂糖を少なく添加させることである。

さらに大臣は今年の 2 月にカールスルーエにあるマックス ループナー研究所内に「子供の栄養研究所」を開設した。ここでは、子供と青少年のための予防的な栄養構想を策定した。この研究所では、初めて様々な科学的分野を含めた研究を行う。それは子供達にどのような栄養が現実的に必要か、そして子供達にどのような感激をもたらすかの研究である。これは子供の栄養のための研究領域における、ドイツとヨーロッパの「灯台プロジェクト」として実施されている。

### **背景―子供の給食の日**

ドイツ連邦全域の学校給食の日でもって、今日 5 月 21 日に保育所施設における給食の重要性を、多くの人々に気づかせる。さらにドイツ栄養協会（DGE）―品質基準普及のために PR している。これは非常に重要である。2019 年 3 月現在、増加する傾向にある連邦全域の保育所施設で、280 万人の子供達（0 歳~6 歳）が世話されている。同じく増加するのは、子供達に施設で日々食べさせる食事の回数である。これは健康でバランスのとれた食事を可能にさせるとともに、連邦食料・農業省が DGE ー品質基準を発展させる。これは今や、12 の州において学校総合ネットワークセンターによって普及されている。

## 2 バイエルン州におけるブルータング病（青舌病）の発生と対策

—イタリアなど他の EU 加盟国への仔牛の輸出制限— (2019・5・23)

連邦食料・農業省は、ブルータング病（訳注・ブルータングウイルスによって発病）の緊急対策を講じた。ドイツにおけるこの病気の地域的な発生によって、広域にわたって制限地域からの牛の取引が、厳しく制限されている。これは他の EU 加盟国において、主に仔牛の移動に適用されている（例えばイタリア、オランダまたはスペイン）。特にバイエルン州にこの対策が該当する。連邦食料・農業省はこの地域の経営者との話し合いにおいて、改善対策を講じている。

連邦大臣クレックナー：我々は、農業者と彼の飼育牛から発生したブルータング病リスクを、深刻に受け止めている。同時に国内での取引を広範囲に制限することが、効果的な危険防護のために必要なことから重要である。このため、我々はオランダとイタリアに対して明確な基準を通知し、リスク地域からの仔牛と成牛の取引についての危険緩和を実施している。

我々はスペインとも集中的に会談し、適切な方法で確信をもって仔牛を輸出するために、現在重要な協定を締結した。ドイツとスペインの獣医局長が、パリにおける家畜の健康のための国際獣医事務局（OIE）総会の際に会談した。これは5月26日から31日の間に開催された。同時にドイツ南部（特にバイエルン州）からの仔牛の国内取引においても、基本的なリスク軽減対策を実施している。

## 3 連邦大臣クレックナーが提案：狼のための閣議決定

—増える狼群と増大する家畜被害に直面して— (2019・5・22)

連邦食料・農業省は、正しい方向に向けた最初の歩みとして、連邦自然保護法（BNatSchG）改正のために提出された草案を歓迎した。急速に増加する狼の個体群とともに、増加する家畜飼育との対立を考慮して、連邦農業省は自然保護法改正に取り組んでいる。同時に厳しい管理のもとに、狼の数の制限的そして公式数の採用、選択的に制限した範囲において認可する。フィンランドの上級行政裁判所の要請で現行の手法終了後、この法改正でもって新しい評価に取り組む。我が省の観点から今計画している改正は、最初の第一歩で農村地域の厳しい状況によって、緊急に必要である。

この法改正は、狼が高い密度で近づいている住宅地域の人々の適切な保護に役立つ。そして牧草地での家畜飼育を防護するためにも。自然のオオカミを人から引き離し、そして被害増大の低下と個々の狼への発砲によって、改正された法の確実性の原則に対する進歩である。つまり、どのような狼が被害を引き起こしているのか。そして群全体の人間からの引き離しが、明らかになっていない場合に合っても。

結局は連邦環境省が、社会全体を説得することが適切である。勿論我々は、正しい方向に最初の歩みを進めるべきである。特に急速に増大する狼群と、同じく増大する家畜の被害に直面して。我々は、この事案に関して連邦自然保護法のさらなる改正が、緊急に必要であるとの意見である。我々にとって必要な狼の制限的な現頭数のコントロールについて、連邦環境省（BMC）と短期間に一致はできない。そのため、立法手続きを進行させるために、BMC の法案を共に担うこととする。今、改正案は議会手続きに入っている。

#### 4 バイオガス施設への糞尿投入は相乗効果を創り出す

(2019・5・16)

連邦食料・農業省政務次官 ミヒャエル シュトープゲンは、農業における温室効果ガス放出を削減すると、昨日（5月15日）連邦バイオエネルギー協会の「議会の夕べ」で述べた。この際、政務次官は家畜の飼育における政策と並んで、農業におけるエネルギー効率を強調した。特にバイオ施設に多くの糞尿を投入することは、意義深い政策である。なぜならば、相乗効果を創り出すからである。

バイオエネルギーは、既に今日電気―暖房―交通分野において、温室効果ガスの著しい量を削減している。バイオガスは、交通―暖房の分野においてCO<sub>2</sub>削減のために、90%以上貢献している。電気分野においては、風―太陽エネルギーが優勢である。バイオエネルギーのCO<sub>2</sub>の減少割合は約20%である。

将来において熱ポンプ、太陽熱補助暖房、太陽光発電、風力ないし電動原動力のような、他のテクノロジーが、明らかに増大するとき、バイオエネルギーはさらに重要な役割を演ずる。その際、これらの投入分野は将来を見通した方向において、電気―暖房生産並びに重量貨物輸送、水運、航空に拡大されるだろう。

## 5 中国の森林政策はグローバルな意義をもつ (2019・5・20)

ー中国・自然資源省大臣がドイツの森林政策を視察ー

林業分野におけるドイツー中国共同活動において、ドイツ連邦食料・農業省政務次官ハンス ヨアヒム フォヒテルが、今日ボンで中国・自然資源大臣 Lu Hao を、高位の代表団長として迎えた。ノルトラインーヴェストファーレン州 (NRW) の農業大臣 ウルスラ ハイネン エッサーもまた、会合に参加した。中国の大臣は、ドイツの林業について情報を望んでいる。

さらに NRW 州の森林管理について 1 日目の議論の後、2 日目に地域林業事務所における現地視察が行われた。政務次官は述べた：“中国における森林政策は、世界的な規模において面積的に大きな広がりに基づいて、グローバルな意義をもっている。さらに中国の巨大な木材需要が、近隣諸国と世界の他の地域における森林に対して、大きな影響をもつ。そのため、中国において安定した森林構造が、世界の森林政策にドイツの経験・研究の知見もまた役立つ。”

NRW 州大臣ハイネン エッサーが補充した：“我々は中国自然資源大臣に対して、ドイツにおける近代的な森林管理について、情報提供することを歓迎したい。人口密度の高い NRW 州において、森林がもつ多くの機能が大きな重要性を示している。我々は中国との専門的な交流の中で、気象変動に対して森林管理の新しい手法でもって対応する。”

中国は世界規模で最大の植林プログラムを推進している。特に国の広大な部分において、森林の保護効果を緊急に必要としている。例えば、エロージョンと砂ぼこりの拡大防止など。同時に森林は将来的に安定した、そして多面的であるべきである。この発展の分野において、ドイツの経験の宝、特に林業上の管理構造について、私有林の自力での施設整備、多面的機能をもった森林管理によって利益を得ることに、中国の関心事が高まっている。ドイツの林業は、中国において高く評価され、そして自らの森林資源の適切な利用と復興のための模範として貢献できる。

## 6 クレックナー大臣：ネオニコチノイド系農薬チアクロプリドの禁止

(2019・5・20)

連邦食料・農業大臣クレックナーは、ヨーロッパレベルで再認可に反対し、同時にネオニコチノイド (Neonikotinoid) 系農薬の 1 つ、チアクロプリド (Thiacloprid) の禁止に尽力したことを、明らかにした。

ブリュッセルにおいて今日、作物・家畜・食料・飼料部門の農薬規則管轄の常設委員会において、最初の討議がなされた。

さらに大臣は述べた：“作用物質チアクロプリドは、最も新しい科学的、技術的知見によって、健康上憂慮すべきそして生態系に有害な農薬と判定された（特に授粉昆虫）。所轄局のリスク評価は明確に示された。私のスタンスは常にはっきりしている。このような作用物質は、市場から排除しなければならない。そのため、私はヨーロッパレベルで、このネオニコチノイドが最早認可しないこと、そして可能な限り禁止することに努力する。”

### **背 景：**

連邦大臣クレックナーは、ヨーロッパレベルで既に昨年蜜蜂に有害なクロチアニジン（Clothianidin）、イミダクロプリド（Imidacloprid）、チアメコキサム（Thiametttttthoxam）の3種農薬の露地での使用禁止に合意した。そしてドイツにおいてこの作用物質でのビート種子の消毒について、非常時の場合でも認可しないことを明らかにした。EUの他の加盟国においても異なって実践することはない。

2019・5・24 訳

青森中央学院大学

中川一徹